

発行 北海道函館西高等学校 「つゝじヶ丘同窓会」 函館市元町7番17号 ☎(0138)23-8415

印刷所 函館市豊川町10番17号 ☎(0138)26-7330

題字 小林 優幸(23代校長)



同窓生・卒業生並びに 在校生の皆様へ

函館西高つゝじヶ丘同窓会会長 渡 辺 俊 二
(西高十八回生)

本年度卒業される生徒の皆様、並びにご父兄の皆様、誠に
おめでとつございます。

また在校生、同窓生の方にお
かれましてはいかがお過ごしで
しょうか。コロナ感染症の猛威
も今年で4年目に突入しまし
た。昨年も年明け早々に増え続
け、2月始めには全国の1日の
感染者数が初めて10万人を超
え、その後一進一退を繰り返し
ながら過ごした1年でした。そ
のような状況の中、西高生徒の
部活動も徐々に活発に活動を
はじめ、文化部、運動部ともに全
道大会、或いは全国大会への出
場を果たし、日頃の成果をいか
んなく発揮し、活躍しております。

また同窓会の動きですが、昨
年の11月には関西支部(中谷会
長)の総会が京都で開催され、私
の代理で工藤恵美副会長が出席
しました。そして今年の5月には
東京支部(折田会長)の総会
の開催もすでに決定しておりま
す。この3年間、役員会はもと
より総会や行事が中止を余儀な
くされております。しかしなが
ら少しずつではあります、

様々な活動ができるようになり
ました。政府も感染症の区分を
2類から5類へと移行する旨を
発表しました。これにより感染
者の数はなかなか減りません
が、マスクの着用の有無も含め
て今後の日常生活においても、
多少の変化があるのではないで
しょうか。

昨年は統合されてから初めて
の卒業生を送りだし、現在も3
学年、6間口で全校生徒約70
0名の大規模になっており、校
内も活気に溢れております。ま
だまだコロナ感染症の完全な終
息は先が見えませんが、今年
の形で、再開できることを強く
願っております。また生徒の皆
様にとっては、楽しみであり且
つ大事な学校祭や修学旅行等、
各種の行事が通常通り行われ
ることを祈念しております。この
3年間、高橋校長をはじめ先生
や学校関係者の皆様方のご尽力
により、生徒達を守り、ご指導
をさせていただいたことに深く感
謝を申し上げます。

このコロナ禍の1日も早い終
息と、みなさまのご健康を心よ
りお祈りしながら、つゝじヶ丘
同窓会で再び、皆様方とお会い
できる日を楽しみにしておりま
す。

毛利幹事長はじめ役員の方々
のお力添えを頂きながら今後も
「つゝじヶ丘同窓会」に対する
皆様方のご支援・ご協力をお願
い申し上げます。ご挨拶とさせて
いただきます。



令和四年度の 教育活動について

北海道函館西高等学校 校長 高 橋 敏 史

日頃よりつゝじヶ丘同窓会の
皆様には、本校教育活動に深い
ご理解と多大なご支援をいただ
いておりますことに心より感謝
申し上げます。特に、コロナ禍
や生活必需品等の物価上昇に伴
う生徒の状況についてご理解を
いただき、昨年度に続いて今年
度も奨学金助成に特段のご配慮
をいただきましたことに重ねて
厚くお礼申し上げます。ありが
とうございました。

さて、令和四年三月には、
つゝじヶ丘同窓会会長 渡辺俊
二様のご臨席を賜り、各家庭一
名に限りはしましたが、三年ぶ
りに保護者も列席の上、統合後
初めての卒業生を無事送り出す
ことができました。また、翌四
月には令和四年度入学生二四〇
名を、卒業式と同様に各家庭一
名の保護者が見守る中、迎え入
れることができました。

教育活動における新型コロナ
ウイルスの影響は、今年度も少
なからずありましたが、高文体
野連の各大会も感染防止対策を
取りながら実施することができ、
放送局と文芸部が全国大会出場
を果たしました。

制限約はありつつも、三年ぶり
に三日日程の開催が叶いました。
二日目には関係各方面の協力を
得て仮装パレードを行い、コロ
ナ禍による未実施により、衣装
やマスケット作成など、先輩か
らの伝承を受けていない生徒た
ちではありましたが、関係各方面
の協力や天候にも恵まれ、実施
することができました。二年次
生の見学旅行も感染防止に気を
遣いはしましたが、関西と東京
の五日間の日程を無事終える
ことができました。

本校は令和五年度、渡島管内
の全日制公立高校で最も生徒数
が多い学校となります。規模に
負けない成果を上げるべく、探
究的な取組をはじめとして、生
徒の成長や自己実現に向け教育
活動を進めてまいりますので、
引き続き同窓会の皆様のお力添
えをよろしくお願いいたします。

なお、本校では北海道教育委
員会の「北海道立学校ふるさと
応援事業」に参加しております。
詳細については、本校もしくは
北海道教育委員会のホームページ
をご覧ください。皆様のご支
援をどうぞよろしくお願い致し
ます。

令和3年度、総会が開催されなかったため、議案書を発送し承認されました。

令和3年度 同窓会事業報告

- 4月5日 四役会(函館西高等学校校会議室)
- 4月8日 令和3年度北海道函館西高等学校 入学式(毛利会長代理出席)
- 4月28日~ つ、じヶ丘奨学生募集
- 5月15日 常任幹事会(サン・リフレ会議室)
- 6月24日 奨学金授与式(校長室・幹事長・教頭・事務局、授与生徒21名、各3万円)
※コロナの影響により救済措置として定員より3名多く奨学金を授与した。
- 8月1日 東京・札幌・関西支部に補助金送金
- 8月8日 西高吹奏楽局第3回定期演奏会生花寄贈
- 9月1日 つ、じヶ丘同窓会札幌支部会報「函西さっぽろ」第17号発行
つ、じヶ丘同窓会東京支部会報「つ、じヶ丘」第25号発行
- 10月10日 つ、じヶ丘同窓会関西支部会報「つ、じヶ丘」第31号発行
- 12月1日 卒業証書入れホルダー注文(233冊、1冊730円+税)
- 12月10日 卒業生クラス幹事選出
- 12月17日 卒業生代表幹事選出
- 12月24日 令和3年度つ、じヶ丘同窓会・総会(書面)
- 1月18日 紅白餅注文(300個、1個400円)
- 2月28日 令和3年度同窓会入会式(本校体育館・渡辺 俊二会長出席)
北海道函館西高等学校同窓会会報「つ、じヶ丘同窓会」第25号発行
- 3月1日 令和3年度北海道函館西高等学校 第72回卒業証書授与式
卒業記念品(卒業証書入れホルダー・紅白餅)贈呈
- 4月1日 令和3年度同窓会計監査(中会議室:監査、事務局)

令和4年度 同窓会事業計画

(計画ではありませんが、コロナ禍のため中止した行事も含まれております。)

- 4月5日 四役会(函館西高等学校校会議室)
- 4月8日 令和4年度北海道函館西高等学校 入学式(渡辺会長出席予定)
- 5月 日 つ、じヶ丘同窓会東京支部総会(ホテル椿山荘東京※コロナの状況次第)2名出席予定
- 12日 同窓会常任幹事会(サン・リフレ函館:会長、校長、教頭、事務長副会長、幹事長、常任幹事、事務局)
- 26日 第一回総会当番幹事会(サン・リフレ:会長、副会長、幹事長、校長、西72・事務局)
- 6月23日 奨学金授与式(校長室・幹事長・教頭・事務局、授与生徒18名予定)
- 7月16日 第二回総会当番幹事会(サン・リフレ:会長、副会長、幹事長、西72・事務局)
- 8月1日 東京・札幌・関西支部に補助金送金
- 8日 役員会案内発送(役員等)
- 日 西高吹奏楽局第3回定期演奏会生花寄贈
- 19日 第三回総会当番幹事会(サン・リフレ:会長、副会長、幹事長、西72・事務局)
- 9月9日 令和4年度北海道函館西高等学校つ、じヶ丘同窓会役員会
(五島軒本店・四役、常任幹事、各期幹事、校長、教頭、事務長、事務局)
- 日 第三回総会当番幹事会(五島軒本店:会長、副会長、幹事長、西72・事務局)
- 日 つ、じヶ丘同窓会札幌支部総会(2名出席予定)
- 10月7日 第四回総会当番幹事会(サン・リフレ:会長、副会長、幹事長、西72・事務局)
- 8日 令和4年度北海道函館西高等学校つ、じヶ丘同窓会総会(五島軒本店)
- 11月1日 卒業証書入れホルダー注文(240冊、1冊750円)
- 日 つ、じヶ丘同窓会総会当番幹事反省会(サン・リフレ:会長、副会長、幹事長、西72・事務局)
- 24日 同窓会会報26号「つ、じヶ丘」第1回編集会議(同窓会室)、1,300部
- 日 つ、じヶ丘同窓会関西支部総会(1名出席予定)
- 1月18日 卒業生クラス幹事選出
- 23日 卒業生代表幹事選出
- 日 同窓会会報25号「つ、じヶ丘」第2回編集会議(同窓会室)
- 1月18日 紅白餅注文(300個、1個400円)
- 日 同窓会会報26号「つ、じヶ丘」第3回編集会議(同窓会室)
- 2月 日 同窓会会報26号「つ、じヶ丘」第4回編集会議(同窓会室)
- 28日 令和4年度同窓会入会式(函西体育館:会長出席)
- 3月1日 令和4年度北海道函館西高等学校 第73回卒業証書授与式
卒業記念品(卒業証書入れホルダー・紅白餅)贈呈、同窓会「会報つ、じヶ丘26号」発行
- 3月31日 令和4年度同窓会計監査(中会議室:監査、事務局)
*新会員会費徴収用紙配布(240名)は事務と連絡調整し新年度中発行予定

函西さっぽろ 2023年4月号

今年7月に開催予定でした「函西74周年」記念行事(卒業証書授与式)は、コロナの影響を考慮し再度中止する事になりました。実施を目的とし、同窓会には、同窓生が皆方々と元氣にお会いできるような環境を整えています。

コロナ禍を乗り越えていこう

函館支部長 竹村 進

4月からは新天地での期待や不安を胸に、早く新しい環境に慣れ希望をもって頑張つてほしいと思います。令和2年ころから私たちは、新型コロナウイルス感染症に苦しめられ経験したことがない日々を過ごしています。今後もコロナウイルス感染の予測が難しいことから、今年も感染防止と社会・日常生活を両立させながら前に進むことになりそうです。コロナ第8波の中、かつての日常が早く戻ってほしいと願っています。

今年3月に西高校を卒業される生徒の皆さんは、学校生活はコロナ禍の期間と重なったため、学習や部活動・学校イベント等に少なからず影響を受け大変な日々を過ごされたのではないのでしょうか。

3月には札幌支部の役員会を開き、今年度の会計報告や令和5年度「総会&懇親会」開催の是非、支部会報の発行等について話し合いをすることにしています。この3年間、役員会で開催中止の判断をするときは、「来年こそコロナは収束して開催できるだろう」といつも楽観と期待がありました。

しかし令和2年度から続けて3年間中止になったことと、「今年の開催は大丈夫だろうか？」と不安を抱いているところですよ。

令和5年、コロナ禍は収まらないまま静かな新年を迎えました。国内初の感染から3年、今のところ収束の見通しが立ちません。令和5年度「総会&懇親会」の開催を、6月24日(土)に予定しています。現在、コロナ感染者の数は、昨年の総会を中止した時の状況より好転していません。

札幌支部の活動状況

札幌支部長 竹村 進(西高17回生)

函館新聞本紙のご購読は購読料 **2,780円** (税込) 1カ月

1部売/120円(税込)

ご購入者には函館新聞社発行のフリーマガジン **ハコラク** をご自宅・会社へ毎月お届け1週間の無料お試し期間もございます

お申し込みは **0120-8540-46**

函館新聞社 函館新聞デジタルもご利用

〒041-8540 函館市港町1丁目17-8

人と、ずっと、いきいきと。

www.hakodate-otani.ac.jp

函館大谷短期大学

〒041-0852 北海道函館市鏡治1-2-3
TEL (0138) 51-1786 FAX (0138) 52-6494

税理士法人 **おしま会計パートナーズ**

代表社員 税理士 **大石 俊彦**

■函館市本町6番7号 函館第一ビル2F
■TEL (0138) 51-0142

世界最大級の不動産ネットワーク

CENTURY 21

リード不動産

部長 **手捲 敬二** (西高41回生)

〒040-0033 函館市千歳町27番8号
TEL (0138) 26-5533 FAX (0138) 26-6973

◆売却不動産 募集しています◆
センチュリー21の加盟店は、すべて独立・自営です。

東京



『東京支部の活動状況』

東京支部会長 折田 信一(西高十八回生)

つゝじヶ丘同窓生の皆さまにはご健勝のこととお慶びもうしあげます。さて、新型コロナウイルスが第7波、第8波と打ち寄せ、あらゆる活動が停滞しております。東京支部に於きましても昨年同様、年初の学年幹事会が書面会議での審議にせざるを得ずご承認を戴きました。

5月7日(土)東京目白の椿山荘を会場に第19回つゝじヶ丘同窓会東京支部総会・懇親会を行う予定にしておりましたがそれも延期になり、ことごとく活動の停止を余儀なくされました。

事務局会議も会報の編集、発行作業のために2度の開催に留まり、リモート及びメール等の情報交換になってしまいました。また、東京臥牛会連絡会及び他高校在京同窓会(中部、ラサール、東、函商、函工)との交流も積極的に参加してきましたがこのコロナ禍ですべて中止になりました。

辛うじてコロナ禍の状況が少し落ち着きを見せていた間に開催されたつゝじヶ丘同窓会関西支部総会には参加させていただきました、久々の交流を深めました。

直近では、全体での総会・懇親会が開催できないこともあり、小規模の同期会単位の集まりを奨励していこうとのことで開催報告と写真ホームページに掲載することを条件に人数に応じて増額の補助金を支援する企画を始めました。

最後にまた、同期(18回生)の佐藤泰志のことに触れたいと思います。芥川賞に5回ノミネートされながらも受賞を果たせず、失意のうちに自死してから32年が経ちました。近年、再評価の声が多岐から沸き上がり、昨年4/19『狂伝 佐藤泰志』無垢と修羅』中澤雄大著・中央公論新社刊 10年もの歳月と情熱を賭して本格的な評伝を著した中澤氏に敬意を表したい。又、映画も第6作目となる『夜、鳥たちが啼く』が12/19全国で公開され、主演 山田裕貴、松本まりかで現在も上映されており、是非、ご覧いただきたいとおもいます。

つゝじヶ丘だより東京
つゝじヶ丘同窓会東京支部会報

ホームページURL: <https://www.td-tokyo.com>

「Let's go 同窓会」実施のお知らせ

関西



『同窓会総会を開催して』

関西支部会長 中谷 基(西高二十回生)

三年というのはいまにも長い空白でした。前回の総会で会長を引き継いだのが二〇一九年十一月、なんと今年中に総会をという思いがあっても状況が許さないのはこの支部でも同じだったと思います。

わずかに状況が良くなり、旅行支援等も始まって観光客が増えてきた京都でしたからここでなんとかやろうと幹事会で決まり二〇二二年十一月開催の案内を始めましたが、はたして何人集まることのできるのか、会長交代後の最初の総会だけになんとか形にしなければと思っておりました。

ありがたいことに本部から工藤副会長、東京支部から折田会長のご出席の連絡をいただき十四名の参加を見込むことができましたが、近づくにつれて体調不良やコロナ陽性などの連絡があり最終十一名になりました。鴨川のほとりにあるヴォーリズ的设计により日本最古のエレベーターでお集まりいただきました。

懐かしい西高校歌の斉唱が始まり、工藤副会長からは最近の函館の状況や母校の様子などをお話いただき、皆さんの近況報告など and 気藪々に楽しく過ごすことができました。

埼玉から来ていただいた川瀬俊吉先輩(西19回生)には応援歌を熱唱していただき、高校生時代に戻り懐かしく年を忘れたひと時でした。

大阪、神戸、京都と二年ごとに場所を変えて開催する予定の同窓会ですが、問題は私も含め会員の高齢化です、なんとか若い同窓生の参加をと思うのですが名簿を探しても関西に来ていた卒業生が少なく、案内を送ることすらできません。

若い時には気にしなかった年月の早さがこのコロナ禍で一層早く感じられるようになりました。若い卒業生が同窓会を期待する年齢になった時に、関西支部が存続できている様になんとか頑張っていこうかと思っております。

つゝじヶ丘だより
つゝじヶ丘同窓会会報



http://30d.jp/hakodate39/5



川瀬さんの雄姿はこちら
<https://youtu.be/nZAtv3e6OIU>



〈函西高美術展〉田辺三重松画伯の絵を巡って

函館西高校の校長室には田辺三重松画伯の80号を超える油彩の大作が二枚飾られている。永年西日に晒されて劣化が著しいものの、観る者にとっては壮観である。画伯は函館が生んだ近代日本を代表する洋画家で、少・青年期は実家の呉服店を継ぐべく庁立函館商業学校に学んだ。彼が学んだ明治・大正期にはその校舎は元町にあり(日和坂途中に学校記念碑がある)、実はそこで画家としての志が芽生えたといわれる。作品の多くが函館と周辺の風景画である所以はきつとここにある。実家の跡取りどころか画家を目指した田辺は商業学校卒業後、函中、高女、函商等で教鞭をとり、生徒たちに絵を指導するようになった。西高百周年記念誌『この坂から』には、教え子の回想録も交えて、当時の様子が写真とともに紹介されている。そして彼は自分にゆかりのある学校に愛着をもち、多く作品を寄贈している。

さて、先の二枚の風景画について、一枚は函館港に浮かぶ満艦飾の船上からの視点で描かれ、画面の上半分では、二十間坂を左手に仰ぎ、カトリック教会、ハリストス教会、そして昭和2年に落成となった庁立高女の校舎(この校舎は現西高校舎の前校舎でもある)が並ぶ。画面左下には筆記体で「T・MIEMATU 1933」とサインがあり、キャンパス裏には(祭り日の港 第20回二科出品 田邊三重松)と本人の自筆と思しき記載もある。三重松没後20年を記念して91年に函館・札幌・東京で行われた「田辺三重松展」の作品カタログでは、彼の年譜から、この油彩画が33年の作品としてその存在はよみとれるが『祭り日の港』の所蔵は明らかにされていない。また作品名もカタログでは『祭り日の港』となっている。

さらにもう一枚の油彩画。制作年や作品名がどこにも記載がなく、ただ右下に「T・MIEMATU」といれも不明瞭ではあるが先と同じ筆跡でサインが記されているだけである。ここではこの絵の詳細について探ろうというのではない。ただ画面の大半を覆う松の樹影とその隙間から覗く巴湾と、そこに停泊する複数の船舶が、いかにも校舎の聳えるつ、じヶ丘からの風景であり、『祭り日の港』と併せると、『春は弥生の草芽えて』で始まる昭和25年開校となった新制函館西高の校歌の、特に2番、3番の歌詞(国文学者で当時北大教授であった風景次郎の手による)の情景をたたえているようにも受け取れる。

いずれにせよ、創立百二十周年を間近に控える北海道函館西高等学校にあって、この坂の上でかわり、育み、情操(こころ)を積み重ねてきた人々の歴史と、また、19年4月に函館稜北高校と統合し、新たな学校の未来に向けての飛翔を示す象徴として、かつてこの地で教鞭をふるっていた美術教師・田辺三重松先生が、時空を超えて、ここで学ぶ生徒たちに置いていった宝物ともいえる二枚の大作であると筆者は信じたい。

他にも田辺三重松の直弟子であった三箇三郎の作品『樹間』や、西高1回生の現代画家菅原靖の、本校百周年を記念して寄贈した『夏の函館港』、またご息女が本校の卒業生であるという縁から岩船修三の抽象画『夕日に帰る鳥』も所蔵、展示されている。ここではその一部を掲載する。

加賀屋 伸 (西高三十一回生)



▲ 田辺三重松 『祭り日の港』



▲ 〈作品裏〉田辺氏直筆と思しきサインが書かれている。又、『祭り日の港』と表記されている。



▲ 田辺三重松 題 不明



▲ 菅原靖 (西1回生) 『夏の函館港』



▲ 岩船修三 『夕日に帰る鳥』



▲ 三箇三郎 『樹間』

《鳥瞰図絵師 石原正さん(西5回生 1932年~2006年)と西高ラグビー部の絶頂期、その周辺を振り返る》

桑森 好造さん(西5回生)に聞く

《鳥瞰図は鳥のように高い所から俯瞰した図で、その始まりは中世ヨーロッパの都市絵図であり、日本では江戸時代以降に作られるようになりました》

石原正さんは日本の鳥瞰図の第一人者で、1970年に日本万博会場絵図を制作したのを皮切りに奈良、鎌倉、神戸、京都、大阪、ニューヨークなど国内外で活躍されました。今年1月には石原さんを師と仰ぐ現在の鳥瞰図絵師青山大介さんのトークイベントが函館市内で開催されました。

編集部は石原正さんを小・中・高時代からよく知る同期の桑森好造さんに話を伺いました。

石原さんには郷里函館を描きたいという夢がありました。ただ鳥瞰図製作は緻密に街を再現するためにペリをチャーターして何千枚もの写真を撮ったり、歩いて街の表情を観察するなど大きな費用と時間がかかります。1984年頃、石原さん自身の見積りは三千万円でしたが、当時、函館市役所には主要な幹部として西高同期の井上博司氏(後の函館市長)、山那順一氏(後の助役)を始めとする卒業生が何人もいて、彼らの力を借りて何とか予算化を試み、実現できるであろうところまでこぎつけました。しかし予想を超える大きな金額だったため、当時の木戸浦市長から承認を得ることはできませんでした。石原さんにとっては大きな挫折であり、深く失望したといいます。当時奔走した西高同期もまた同じ気持ちでした。もしこの時、鳥瞰図が実現していたならば、函館の大きな宝となっていたでしょう。

さて、石原さんの後継者を自認する青山大介さんは桑森さんから石原さんに関する数々のエピソードを聞き、時には石原家の菩提寺である称名寺に二人でお参りし、絵画制作に多くの示唆を受けたようです。彼は今、石原さんの遺志を継ぎ、函館鳥瞰図の制作に取り組んでいます。現段階で半分程との事ですが、完成に傾注している姿に頭が下がります。

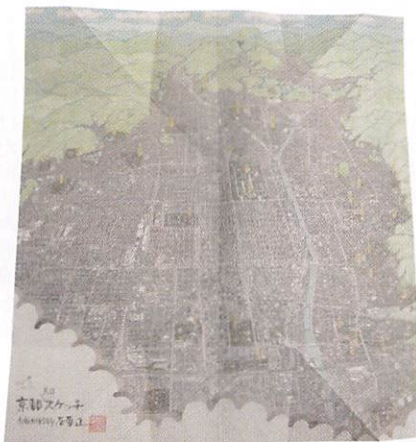


卓越した記憶で語る桑森好造さん

石原 正さんの後継を自任する、青山大介さん葛屋書店でトークイベント開催



▲ピース10月号に掲載された石原 正さん



2004年4月発行のクロワッサン特集「絵師・石原 正」に掲載される京都全景スケッチ▶



話は西高ラグビーの絶頂期に及びました。

西高ラグビー部は早くは函館工業、昭和30年代後半から昭和40年代は函館北高などのライバルと切磋琢磨し、北海道においてもゆるぎない強さを誇ったチームでした。1968年(昭和43年)の福井国体では、決勝で東京目黒高校と戦い、敗れましたが準優勝という栄誉を収めました。その時の監督が藪越敏廣先生(西高在籍期間S.38.4~S.54.3)です。よく高校スポーツは指導者次第だと言われるが、藪越先生の赴任から西高ラグビー部は実に顕著な実績を残しました。手塩にかけて育てた名選手達を輩出し、とりわけ中央大から新日鉄八幡に就職し、全日本に選ばれた本田雄策選手(西15回)新日鉄釜石から選抜された谷藤尚之(西20回)などがいました。

藪越先生は函館工業から日体大に進学、卒業後、室蘭栄工業から函館西高に赴任、ラグビー部の指導に力を尽くしました。その後、南茅部高、稜北高校へと転勤し、目覚ましい成績を残し、函館ラグビー界に貢献した方でした。

桑森さんの弟さんが西8回生でラグビー部に所属していたこともあり、桑森さんは弟さんを通じて藪越先生と交流を深めていました。西高が花園(昭和41年)年に出場した時には新しいユニフォームを寄付した程の熱い支援でした。

ところで桑森さんはこんな話もしていました。

戦後の函館ラグビー界は、北海道において札幌などにも遅れをとることなく、国際試合も数多くフランス、アイルランドの強豪チームがきて好試合が戦われたんだよ。また、戦後まもなく学制改革前の函館市中(現市立函館高校)のラグビー部が全国中等選手権で日本一になったこともあったんだよと話されました。この話には驚きました。

戦前から戦後にかけて函館ラグビーが全国的にも先駆的な存在をさせたのも、もとをたどれば日魯漁業といった巨大企業があったからで、函館の野球界で名捕手久慈選手が輩出されたのも、日魯の流れを汲む太平洋オーシャンがあったからとのことでした。

日魯漁業の存在がスポーツ・文化の交流を促し民間の活力を引き上げたのです。戦前・戦後の日魯漁業ビルにおいては、種々の公演が催され函館文化の発祥地だったのです。

まさしく函館の歴史、水化水準の高さが、全国レベルの人材の輩出を促したのです。

以上の様に一時間に余る様々なお話を伺い、取材を終えました。

桑森さんが立板に水の如く話される内容は、幅広く、テーマをとらえ背景を知り尽くした絶妙なものでした。八十六歳、稀なる卓越した記憶力の持ち主でした。

大先輩桑森さん 貴重なお話をありがとうございました。



▲1968年(昭和43年)福井国体に初出場のラグビー部。準優勝の栄誉を飾る。

私たちは食を通じて
安心・安全・健康を提供します

株式会社 中山薬品商会

代表取締役 中山 一郎

函館市万代町20番10号
TEL(0138)40-6275
FAX(0138)40-3939

活躍する同窓生!!



七飯町長

西高三十一回生 杉原 太

町長になられてまもなく一年です
ね。

杉原 はい。七飯町には思っていた以上に多くの同窓の方が住まわられていて、選挙の際は激励や温かい言葉をいただき感謝しています。

町長を目指したきっかけはありますか？

杉原 子供が成長する過程でPTA地域の行事に参加する中で、役員職員であると同時に一町民であるという意識を持つようになりました。その頃、七飯町議会議員をしていた13回生の故奥村浩之さんに立ち上げたばかりの大山山ふるさと祭りの実行委員に誘われたんです。その活動の中で「町づくり」に気持ちが向かったように思います。

七飯町の特徴を教えてください。

杉原 いい町です。自然が豊かで水に恵まれ陽当たりもよく温暖で農業も盛んです。国定公園である大沼公園、日本の道百選にも選ばれた赤松街道、潜在的な魅力のある町だと思っています。古くからこの町に住む人と転入者が協力し合い結束力もあり、私はその中で育ててもらいました。

七飯町をどんな町にしたいですか？

杉原 長い行政経験の中で町民にとって何が大切かと考えた時、一人ひとりに寄り添って共に生きる社会を構築することが必要だと思いました。少子高齢化が問題視されるようになってから、子育て世代への施策に力を入れるようになりました。もちろんそれは大事なことです。高齢者にも心と体を健康に保ち長生きしていただきたい。町の活力になりますから。文化、芸術、スポーツなど趣味を通して生き甲斐を持ち、健康寿命を延ばして欲しいです。年齢、性別にかかわらず、一人ひとりが尊重され、充実感のある生涯

を安心して送られる町にしたいです。

それは町民の幸福度を高めたいということでしょうか？

杉原 その通りです。そのためにタウンミーティングなど町民の声に耳を傾ける機会を増やしました。七飯町はまだ発展途上にあります。新幹線の札幌延伸工事、北海道縦貫自動車道大沼IC七飯IC間の建設工事も始まります。今後それに向けた街並み形成も必要になってきます。

私も町民のひとりとして楽しみにしています。最後に在学中の思い出と生徒達へのメッセージをお願いします。

杉原 部活はボート部でした。港で顔を合わせる機会も多く、他校生徒とも仲良くなりました。クラスは男女まじりですが、文化祭も球技大会も楽しかった思い出です。生徒達には高校時代は思ったことが出来る時代であり、人間形成の上で大事な時間であるというふうに伝えたいです。そして高校の友人は生涯の友になります。

杉原さんもいい友人に恵まれたのでしようね。ありがとうございます。
(西高二十五回生 柿村 栄子)



函館海上保安部長

西高三十一回生 池上 克浩

海上保安庁に入庁したきっかけは何だったのですか？

池上 高校の同級生に誘われて受験しました。実は子供の頃から保安官に憧れていて……。

西部劇のですか？

池上 活躍する舞台は、違います。海上保安官になりました。日本で「保安官」と呼ばれるのは海上保安官だけです。今は天職と思っています。

保安庁の仕事内容を教えてください。

池上 領海警備、海難救助、海上における犯罪の捜査、取締り、海洋環境保全、災害対応、海洋調査、船舶の航行安全のため調査結果を海図に反映させるなど多岐にわたります。海上の警察であり、消防であり、治安の確保のため最前線に立つて冷静かつ毅然と対応しています。海上保安庁は国土交通省の所属です。

厳しい訓練をされるんですね？

池上 領海警備や犯罪に對峙する訳です。治安維持のための制圧術や武器の訓練をします。人命救助にあたる機動救難士や特殊救難隊はレスキューのスペシャリストとして特別な訓練をします。

特に思い出に残っている任務は何ですか？

池上 保安大学の教官をしていた時、全航程1000日の世界一周の航海訓練をしました。学生は40、50名でした。各国に海上保安機関があり、海上秩序の維持、強化のため関係国と連携体制を築いています。訓練の途中、何港か寄港しました。

若い方達にも海上保安庁に興味を持っていただきたいですね。

池上 現在職員は全国で一万四千人ですが、この広い海を守るためにはもっと人員が必要です。ドラマ「海猿」が放送された頃は関心度が高かったんですが……。これから将来を考える皆さんには職業選択の一つとして考えていただきたいと思っています。やり甲斐を感じる仕事だと思います。

高校時代は卓球部で活躍されたとお聞きしましたが、その頃の思い出、生徒達に言葉をいただけませんか。

池上 親しい仲間達と深く付き合うことができました。友人関係は今も続いています。卓球は頑張っていました。全道大会にも出場しました。高校での体力作りが役に立って、保安学校の訓練もきつくなかったです。自分にとって部活動をしてきたことが自信、支えになり、心の糧でした。後輩達には、志を持つことが大切だと伝えたいです。
(西高二十五回生 柿村 栄子)

重防蝕塗装と塗料販売
株式会社 **山矢商會**

代表取締役社長 山矢 卓
(西高30回生)

【函館本社】
☎040-0051
函館市弁天町13番15号
☎(0138)26-2321

システム制御工事・電気建築設備工事
冷暖房及び自動制御機器保守サービス

株式会社 ケイソー

佐藤 幸子
(西高17回生)

函館市山の手1丁目33-20
☎(0138)55-4466・FAX(0138)52-9306



令和四年度 函館市ラグビーフットボール協会 会長就任に際して
西高二十四回生 石井 勝

令和4年度から2年間函館市ラグビーフットボール協会の会長を仰せつかりました石井勝です。また、私は同窓会本部の副幹事長として一昨年度より携わっております。つ、じヶ丘同窓会の皆様におかれましては日頃より様々な活動等にご尽力を賜りまして、この場をお借りし厚く御礼申し上げます。

さて、函館のラグビー関係者の方にお聞きしたところ、函館西高等学校卒業生で会長就任は初めてのことだそうです。私ごときが何故会長に推薦されたかという経緯に付きましては、「時間的余裕があり、長年ラグビー界に精通している、中央とのパイプもある方」というような条件にタイムリリーに当てはまったということではないかと推察しております。

函館市ラグビーフットボール協会は2026年度に開設100周年を迎えます。今年には周年記念行事準備委員会(仮名称)発足を予定しております。過去の写真や資料及びデータなどを収集、整理し、記念誌作成と記念行事に向けた準備を本格的に作動したいと考えています。次に函館市根崎運動公園ラグビー場の改修工事が終了し、雪解け後に芝の張り付け、初夏頃には1年ぶりに使用可能となる予定です。それに合わせ、こけら落としとして青函対抗戦でオープニング試合を考えております。更には、今秋、フランスに於いてRWCが開催されます。4年前の日本大会で初のベスト8入り達成し、日本中が沸きに沸いた興奮をもう一度味わうためにも、函館市のラグビー人口底辺拡大に向けての取り組みが必要と考えております。

私は西高在学中はプレーヤーとして楽しませていただきましたが、それ以上にこれまでレフリーとしても深く携わってきました。地方大会のレフリーをスタートラインとし、平成元年の北海道はまなす国体のレフリー、その後は関東協会、日本協会A級レフリー、(花園高校大会、早明戦、関東大学リーグ戦、対抗戦、全国大学選手権準決勝、全国社会人大会決勝戦、U19アジア選手権大会、第2回ワールドカップセブンズ大会、アメリカ代表対香港代表テストマッチ等)、日本協会レフリーコーチなどを務めて参りました。プレーヤーとレフリー両方の立場からラグビーに携われたことは私にとつて大きな財産となりました。これらの経験を最大限生かすつ、多様な問題解決に積極的に取組み、現在できる最善の状況を構築して参りたいと考えております。

名前だけの会長と言われることのなきよう、当会の更なる発展を目指し微力ながら精進する所存ですので、今後とも一層のご支援とご協力を心からお願ひ申し上げます。母校の同窓会報の紙面を拝借してご挨拶申し上げます。



函館市議会議員 30年活動しております。
西高二十四回生(つ、じヶ丘同窓会副会長) 工藤 恵美

皆様今年の厳しい寒さとコロナ禍の中いかがお過ごしでしょうか。私が西高を卒業した昭和49年は、ちょうど高度成長期でありました。OL時代ベースアップは毎年2〜3万円も上がりましたね。今では信じられない時期でした。しかし、30歳頃には不景気が始まり省エネで町のネオンサインは夜8時に消えてしまう。国鉄はJR民営化、函館ドッグは解散となり、毎日のように送別会をしなければならぬ寂しい町になってしまいました。この頃から人口減少が始まったのでしょうか。若いながらも何とかしなければならぬ。と仲間と話し合うようになり、実績が無くてもお金持ちでなくても若さと女性の視点で町づくりに参加しようと立候補したのです。「思いやりそして行動する」をモットーに、あれから30年8回の選挙を当選させて頂き活動して参りました。さらに函館市議会初の女性議長に就任 致しました。そして昨年11月30日北海道社会貢献賞を受賞致しました。身に余るとても光栄な事でございます。函館には歴史の深さの文化・芸術と街並みの美しさ・美味しい料理があります。さらに地元を再発見し函館を愛する心を育てましょう。

昨年11月関西支部つ、じヶ丘同窓会が開催されました。渡辺会長が所用のため出席叶わないため同窓会副会長として出席して来ました。初めてお目にかかる先輩方なのですが、年齢差を越え仲良くなるには時間はかかりませんでした。母校の話素晴らしいロケーションを思い出しながら、坂を駆け上った若さ「この坂から」たくさんのドラマをお聞きし楽しい時を過ごし、再会を誓って解散しました。私は、これからも皆様の声をお聞きし「助け合い笑顔で暮らせ

企画・編集・印刷・各種製本
有限会社 海峡社
代表取締役 張 磨 勝 廣 (西高15回生)
〒040 函館市豊川町10番17号
TEL (0138) 26-7330
FAX (0138) 27-2189

商品の顔を創る。
各種シール製造・ステッカー・ワッペン
ラミネート加工 他各種印刷
北日本シール印刷(株)
〒040-0073 函館市宮前町5番19号
☎ (0138) 43-8323
FAX (0138) 43-4991

分譲マンションを超える
ステイタスを感じる
賃貸マンションです。
ガーデンテラス函館
函館市梁川町6-6
連絡先 **(株)ウイステリア**
取締役会長 藤井 方雄
TEL/FAX(0138)32-3222

現役生徒の活躍

◆NHK放送コンテストで全国へ



こんにちは！函館西高校放送局です！ 私たちは2年生4人、1年生2人の計6人で活動しています。そして、春に行われた第69回NHK高校放送コンテストで地区、全道で総合優勝し、念願の全員で全国大会に行くことが出来ました。

◆水泳競技で全国へ



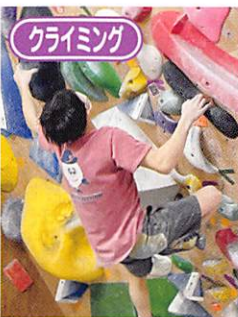
令和4年度全国高等学校総合体育大会水泳競技大会に50m、100m自由形で出場しました。今回の大会には初の出場で、いつもとは違う会場や速い選手たちの雰囲気圧倒されました。

◆文芸部誌部門で全国大会へ



私たちが文芸部は今年度、第二十回全道高等学校文芸研究大会作品コンクールで「カント」第3号で文芸部誌部門最優秀金賞をいただき、来年度鹿児島県で開催される第四十七回全国高等学校総合文化祭文芸部門への参加が決まりました。

◆スポーツクライミング 全国大会に出場!!



12月24・25日に、埼玉県で行われた全国高等学校選抜スポーツクライミング選手権大会に出場してきました。大会はリード競技で、函館では練習できなかったため、札幌などの施設で行われる強化合宿への参加や、函館のジムでの練習を行い、大会に向けた準備をしてきました。

◆土方歳三を題材にした書で全国大会へ出場

私は、去年の全道大会で北海道代表に選ばれ、全国高等学校総合文化祭(とうきょう総文)に出場することが決まっています。この期間は、新型コロナウイルスの影響により、学校で思うように練習ができず、ほとんどが家で活動でした。

今回函館にゆかりのある土方歳三を題材に設定しましたが、土方の気持ちを汲み取りながらの書表現にとっても苦戦しました。しかし、作品制作を通して、様々な視点から物事を知ることができたのが広がっていくことを改めて学ぶことが出来ました。



阿部 光政

昭和27年第24回選抜大会(甲子園)及び第34回全国高校野球選手権大会(甲子園)に出場した、函館西高野球部、エース太田侃投手(西3回生)のお孫さん太田ジュリア留理さん(ブラジル在住)が、2月3日本校を訪問しました。



縁戚の松代光平さんが、同行しました。その松代さんの叔父さんにあたる松代晃明さんは、6回生で西高吹奏楽の伝説のクラリネット奏者で読売交響楽団で活動なさった方です。今回詳細することは、かないませんが、次回同窓会報に詳しく、「西高野球部」「西高吹奏楽部」の草創期からのことを紹介したいと思います。

編集後記

年が明けてコロナ禍も3年が経過しました。2月には、札幌の雪まつりもフルスケで開催され、ようやく日常が戻りつつあります。さて、つじヶ丘同窓会も各支部の会報は通常通り企画発行され、本部においても昨年は発行できましたし、本年も皆様のご協力のお陰で実現の運びとなりました。このように学校のそれぞれの行事がコロナ禍のまえより、充実した姿を現してくることを祈念します。